

# 市民活動助成金事業計画書

(必ず記入してください)

《団体名》

団体名	〇〇〇〇ネットワーク		
代表者	堀の内 花子	連絡先	〇〇-〇〇〇〇

《事業名称》

「こまき」まちづくりシンポジウム 事業

《助成部門》 (下記の2部門から選択してください。)

<input checked="" type="radio"/>	【はじめの一步部門】
<input type="radio"/>	『元気なまちづくり部門』

《助成回数》 ※『元気なまちづくり部門』で申請する団体のみ記入

	1回目
	2回目
	3回目

助成回数は同一事業につき、**最大3回**までとし、【はじめの一步部門】も含め、過去に採択された回数も含めます。

《申請金額》

【はじめの一步部門】で申請する団体

**50,000 円** ※上限5万円 (補助率90%以内)

『元気なまちづくり部門』で申請する団体

1回目	円	※上限10万円 (補助率80%以内)
2回目	円	※ // (補助率70%以内)
3回目	円	※ // (補助率60%以内)

《事業の目的と申請する理由》

交付申請書1(3)と同内容を明記。

昨今の社会情勢の変化により、行政単体のまちづくりのしくみでは賄えない問題が増加しています。このような問題を解決していくためには、市民自らが「自分たちの住むまちのくらしや文化・産業等を、自分たちの手で作り、守っていこう」という意識を持つことが大切であると思われます。このような意識を持ってもらうために、多くの市民に集まっていただき、自らが小牧をより豊かに、より住みやすい街にするためにどうすべきか等の意見を聞くとともに、啓発・啓蒙・ニーズ調査を行うための「まちづくりシンポジウム」を企画開催するための費用として、助成金の交付申請をします。

《事業の内容》 ※できるだけ詳細に!

- 「こまき」まちづくりシンポジウムの開催 (平成25年10月と平成26年1月の2回)
  - 〇〇大学教授を講師に迎えての講義
  - 市民からの意見収集と意見交換
  - 参加者へのアンケート調査
- 意見およびアンケート結果分析・まとめを行った後、HP等で公表する。

《前回からの改善点》 ※助成回数が2回目および3回目の団体のみ記入

--

《事業の工程》 ※企画・準備・実施等について、できるだけ詳細に！

例) 企画立案(平成■年●月～▲月)

- ・企画立案(平成25年6月から7月)
- ・資料作成(平成25年8月から9月)
- ・準備作業、講師依頼、市民公募等(平成25年9月)
- ・シンポジウム実施(平成25年10月・平成26年1月) 2回
- ・アンケート分析・集計(平成26年1月から2月)・
- ・文章およびHPにて結果公表(平成26年3月)
- ・報告書作成、提出(平成26年3月)

《事業の対象者》

市内在住、在勤、在学者ならどなたでも

《期待される効果》

参加者(市民)に「自分たちのまちは自分たちで創造する」という想いを  
持ってもらうことができ、今後、想いをカタチに変えていくための基盤と  
なりうる。

《選択審査項目》 ※『元気なまちづくり部門』で申請する団体のみ記入  
事業の内容で特にアピールしたい2項目を下記から選択してください。

地域性	活動が地域に寄与することが期待できる
自立性	自己努力による資金確保に努めている
先駆性	新しい社会を作り上げるために期待ができる開拓的なものである
実現性	実行可能な方法、スケジュール、予算である
問題提起性	社会への新たな問題提起につながる
効果性	効果の広がりが期待できる

上記で選択した項目以外にもアピールしたい項目があれば、プレゼンテーションで発表してください。

《発表方法》 ※『元気なまちづくり部門』で申請する団体のみ記入  
予定しているプレゼンテーションの方法を記入してください。

《今後の展開》 (団体の今後のビジョン『到達目標』を記入してください。)

シンポジウムや事後アンケートで得たニーズをもとに、小牧まちづくりマップを作成するとともに、今後は、まちづくりに対する意識のみならず、自らが考え、自覚し、行動してもらえようような仕組みを構築し、行政や関係機関への政策提言を行っていく。

《その他》

- ・ 記入した本シートの他に、事業内容を示す資料があれば添付してください。
- ・ 事業内容、申請理由、今後の展開 etc.で書き足りない場合は、別紙を用意してください。